

大型の台風 6 号が 7 月 19 日から日本列島の南の海上を東南東に進んだ後 23 日からは東海上を北上した。台風に吹き込む風の影響で 7 月 20 日 19 時以降北系の風が連吹し、7 月 21 日に青潮が発生した。青潮は当初、千葉中央港、外港といなげの浜～幕張、茜浜～船橋港の沿岸部に発生していたが 22 日には千葉沖から市原港に拡がり船橋沖でも範囲

を拡げた。7月22日の船橋港の水質鉛直プロファイルを図2に示した。

北系の風は24日午前には収まり、青潮は25日に解消した。7月20日から26日の千葉測候所の1時間ごとの風向・風速<sup>3)</sup>のベクトルを図3に示した。青潮確認の前日7月20日の夕刻より3日間以上北系の風が連吹していたことがわかる。

### 3・3 8月23日～8月24日

8月23日に江戸川放水路から三番瀬にかけてと千葉中央港で青潮が発生した。青潮は1日で解消し翌24日には青潮は認められなかった。

### 3・4 8月30日～9月5日

8月30日12時15分に千葉中央港からいなげの浜、検見川ヨットハーバーで青潮発生との報告があり同日14時にはさらに船橋港内から茜浜、マリスタジアム沖にかけて及び市原港周辺から養老川河口の南側まで青潮となった。翌31日には千葉港周辺でやや拡がり船橋港周辺では三番瀬にも青潮が及んだ。養老川河口の南側は解消した。9月1日には青潮は船橋港周辺、千葉中央港周辺、村田川河口周辺に縮小した。9月2日には船橋港では解消、千葉中央港では寒川付近を除いてほぼ解消した。5日に完全解消を確認した。

### 3・5 9月27日～9月30日

9月27日、千葉中央港、新港、船橋港の奥に青潮が発生し、いなげの浜も弱い青潮となった。28

日には船橋港内の青潮は継続していたが範囲は縮小、千葉新港では解消、中央港内では継続していた。29日には青潮は縮小し船橋港内、中央港内で解消、マリスタジアム沖から稲毛方向にかけて狭い範囲でのみ継続している状態となった。30日朝にはすべて解消していることを確認した。

### 3・6 10月21日～10月24日

10月21日13時50分に幕張浜田川から船橋港入口周辺で青潮が発生した。24日には解消を確認した。

## 4 まとめ

2011年の青潮発生回数は6回であった。うち2回の青潮はやや大規模であった。漁業被害の報告はなかった。

## 謝 辞

本調査は千葉県環境研究センターと千葉県環境生活部水質保全課との共同調査であり、ご協力いただいた関係各位に深く感謝します。

## 文 献

- 1) 日本科学者会議編：東京湾，大月書店
- 2) 飯村晃，小林広茂，小倉久子：東京湾の青潮発生状況（2010年），千葉県環境研究センター年報第10号（2010）
- 3) 気象庁気象統計情報

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

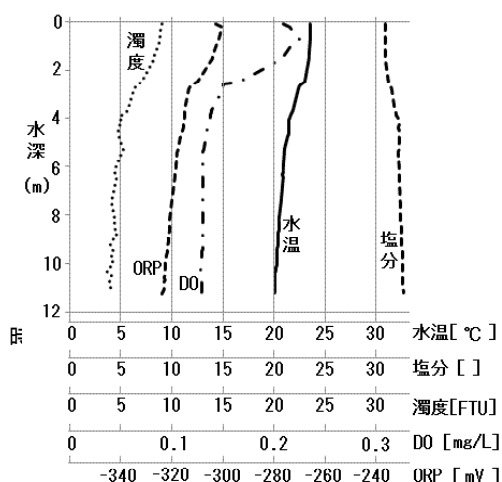


図2 7/22船橋港の水質鉛直プロファイル

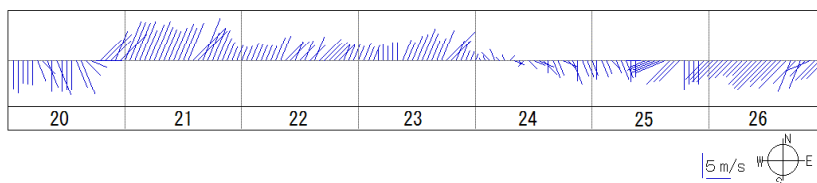


図3 7/20～7/26の千葉測候所における1時間ごとの風向・風速